

「第1回熊本市公共交通協議会」議事録

I 日 時 平成24年5月28日（月）午後2時～午後4時00分

II 場 所 桜の馬場 城彩苑

III 委員名簿 別紙参照

IV 事務局 熊本市交通政策総室

V 次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付及び委員紹介
- 3 市長挨拶
- 4 会長、副会長選出
- 5 会長及び副会長挨拶
- 6 議事及び報告
 - (1) 会議の運営について
 - (2) 各専門部会委員及び部会長の指名について
 - (3) 協議会の検討事項及びスケジュールについて
 - (4) ゆうゆうバス運行状況について
 - (5) その他
- 7 閉会

VI 主な内容

委嘱状交付

幸山市長挨拶

会長及び副会長選出

会長：坂本正委員

副会長：溝上章志委員

会長及び副会長挨拶

(事務局)

6 (1) 会議の運営について説明 (資料1)

(事務局)

6 (2) 各専門部会委員及び部会長の指名について説明 (資料2)

- ・ 各専門部会委員については、事務局案を了承。
- ・ 専門部会設置要領に基づき、坂本会長が第三者的立場の学識経験者に就任してもらいたいとの意向より指名
 - ① 公共交通基本条例部会長：坂本会長
 - ② コミュニティ部会長：上野委員
 - ③ バス路線網再編部会長：溝上副会長

(事務局)

6 (3) 協議会の検討事項及びスケジュールについて説明

(委員)

- ・ コミュニティ交通部会の検討内容について、コミュニティ交通の導入を行う際に、基準と手順だけでなく、形態を検討項目に入れるべき
 - ⇒ コミュニティ交通の導入検討項目に形態を追加

(会長)

- ・ 各部会が連携する必要があるため、随時各部会の状況報告を行うよう事務局側に提案。
 - ⇒各部会の協議録及び資料については、全委員に送付

(事務局)

6 (4) ゆうゆうバス運行状況について説明

6 (5) その他

(事務局)

- ・ 本年度を公共交通再生元年と位置づけ、公共交通ランドデザインの具体化に向け始動する
- ・ 本年度中に (仮称) 公共交通基本条例の制定を目指す

- ・ 今年度中にコミュニティ交通の制度設計を行い、次年度のコミュニティ交通導入を目指す
- ・ バス路線網再編について、本年度中に実施プログラムを作成する

(全委員より公共交通の考え方について、以下のような意見を述べられた)

- ・ 公共交通について、各専門部会で詰め、協議会全体会で専門部会の意見を集約していけば力強い推進力になるのではないか
- ・ 熊本市の公共交通ということだけでなく、熊本都市圏で考えていく必要がある。
- ・ 各公共交通機関が意義を確認し、お互い連携していくことが必要である。
- ・ 熊本市の都市構造と公共交通をリンクして検討していくことが必要である。